

第1回 日進市障害者基本計画等策定・評価委員会 議事録

日 時 平成23年6月20日(月) 午前10時～午後12時5分

場 所 日進市中央福祉センター 多機能室北

出席者 <委員>佐野 龍司、 川井 直博(委員長)、 谷口節子、
伊藤 勝也(副委員長)、 浅井 康宏、 石井 好恵、
石川 博夫、 神谷 昌典、 村瀬 公一、 矢崎 利恵子
<事務局>福祉部：加藤部長、山中次長
福祉課：松田課長、加藤課長補佐、水谷主任

欠席者 石垣 儀郎、 小野田 笑子

傍聴の可否 可

傍聴の有無 無

委員会次第 1 あいさつ
2 議事
(1) 計画の進捗状況にかかる点検と評価について
①障害者基本計画
②障害福祉計画
(2) 障害福祉計画について
3 その他

事務局 ただいまから、平成23年度第1回日進市障害者基本計等策定・評価委員会を開催します。本日は、委員12名のうち、10名の方が出席されておりますので、本委員会の設置要綱第6条第2項において本日の委員会は成立いたします。

委員長 あいさつ

事務局 会議資料の確認

- ・次第、委員名簿
- ・資料1-1「各評価シートについて」
- ・資料1-2「日進市障害者基本計画 平成22年度基本施策別事業評価シートについて」
- ・資料1-3「日進市障害者福祉計画点検・評価シート」
(当日配布資料)
- ・第3期障害福祉計画策定にあたって
- ・アンケート調査表
- ・第2期障害福祉計画

それでは、これからの進行については委員長にお願いいたします。

委員長 傍聴について①傍聴者数、傍聴手続きについて ②本会議の傍聴許可について説明。

委員長 従来より、傍聴については、先着順で5名程度として実施してまいりましたので、今後についても先着順で5名として行きたい。

委員 承認

委員長 (傍聴者なし)

委員長 今回変更があった委員及び職員の紹介

委員 自己紹介

事務局 自己紹介

委員長 それでは議事に入ります。

本日の議事(1)は、「計画の進捗状況にかかる点検と評価について」です。評価シートは、事前に事務局が自己評価まで行った上で、評価基準を基に、機械的に委員会評価の素案として記入しております。それに

ついて、委員会評価としての是非についての審議や、ご意見をいただきたいと思ひます。また、評価はそのままでいいが、意見等を付すというような形もあろうかと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

まず、次第に従ひ、障害者基本計画の評価の説明をお願ひします。

事務局 資料説明（資料1－1、資料1－2）

委員長 事務局から基本計画の評価について、説明がありました。何か、ご質問ご意見がございましたら発言をお願ひします。

また、委員会評価につきましては、昨年度、一度評価しておりますので、昨年度の評価も参考にしながら、前期5ケ年の事業である65事業について平成22年度の評価のほうをよろしくお願ひします。

委員 評価について確認させていただきたい。1ページ目の「事業名：グループホーム体験事業に対する支援」のところですが、H21年度の自己評価cのところ、H22年度では自己評価がdに下がっていますが、なぜですか。

事務局 平成21年度に専門部会で事業案を作成していただき、福祉部で調整したうえで実施計画へ計上しましたが、見直しが必要ということで認められなかった経緯があり、予算要求まで出来ておりません。部会のほうでは、引き続き内容について再検討しております。

また、評価については、平成21年度の委員会評価がDでしたので、そうした状況を踏まえ、自己評価を前年度の委員会評価に合わせたものになります。

委員 グループホーム体験事業については、NPO法人なかまの家のほうで、一度、試行的に母親たちを中心として実施する予定です。時期としては、平成23年8月頃からを計画しております。

委員長 市のほうでは、計画が認められないと予算編成ができないということですので、そういう経過がわかるようなコメントを付すことでよろしいですか。

委員 承認

委員 1ページ目、No.1の「事業名：集いの場・居場所づくり」についてで

すが、子ども（障害児）については、計画にあると思いますが、大人についてはどのようになっているか、わかりませんので教えてほしい。

事務局 障害者支援拠点施設は、当初の計画ではすくすく園の設計だけでしたが、そこに地域生活支援センターや交流スペースを盛り込んで、施設規模を拡大して設計に反映させております。障害当事者やボランティア、家族等の集いの場や交流できるスペースを設けております。

委員長 集いの場等である交流スペースは、子どもも大人も対象にしているということですね。他はよろしいですか。
それでは、No.2で何かありますか。

委員 No.2の最後のところ「事業名：成年後見制度利用支援事業」の自己評価ですが、単に「利用実績がなかった」という表現ではなく、勉強会等を開催しているけれども、利用実績がなく、引き続き制度周知に努めていくような表現を加えたほうが良いと思います。

事務局 自己評価につきましては、制度周知に努めていくような表現を加えるなど、書き方のほうを検討させていただきます。なお、この制度は、成年後見制度が必要であって、報酬が払えないなど、経済的にお困りの方を対象とした制度であります。実績がないということは、利用対象者がいなかったと考えられますが、今後についても、周知方法については広報なども考えていきたいと思います。

また、平成23年度中には成年後見センターが設置されますので、そちらを通じても制度周知に努めてまいります。

委員 そういう制度があり、制度を周知しているけれども、該当者がいないということは良いことだと思います。捉え方の問題だと思います。

委員長 それではNo.3に移ります。何かありますか。

委員 一番下のところの「事業名：障害に関する情報の提供」ですが、こちらは聴覚障害者の方も含まれると思いますが、消防署や警察署などに耳の聞こえない人への連絡方法とか、手話通訳を派遣するような方法など、そういうことを早く進めてほしいと思います。評価はDですので、よろしくお願いいたします。

委員長 平成22年度は未着手ですが、今年度実施予定という記載がありますが、具体的にどういう予定ですか。

事務局 事業概要のところに記載があるように、障害のある人への誤解などをなくすための啓発リーフレットなどを配布して、お願いに行く予定をしております。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.4へ移ります。

委員長 3項目目の「事業名：障害者自立支援協議会の機能強化」の評価について、自己評価がaからbに下がっていますが、何か理由があるのですか。

事務局 平成22年度は、ケアマネジメント部会のほうで「乳幼児期のシステムの構築について」検討していただきましたが、ライフステージを通した支援ということでは、検討する幅が広く、まだまだ検討しなければならないことが沢山あります。その中の1つを検討したということから、b評価にしました。

委員長 これは、全部見直していくということですか。

事務局 B評価になりますので、一部見直しが必要ということですが。記載に「一部」が抜けておりましたので、訂正をお願いします。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.5へ移ります。

委員長 特別支援学級は、どのような状況になっていますか。

事務局 平成21年度に相野山小学校に肢体不自由児を対象とした特別支援学級を設置していますが、平成22年度は対象者が3名となり、1名増えています。

委員長 何かありませんか。それではNo.6へ移ります。

委員長 評価基準のことですが、例えば「事業名：障害の特性に配慮された健康診査・検診の実施」の欄の評価のことですが、平成21年度と平成22年度のB評価とC評価の評価基準が入れ替わっていますので、平成2

1年度の評価についても平成22年度の評価基準に直してもらったほうが、わかりやすく、見やすくなると思います。平成21年度はc評価ですので、「一部見直しが必要」という記載になっていますが、平成22年度の評価基準に合わせて「見直しが必要」という具合に、事務局のほうで修正してもらえますか。

委員 承認。

事務局 わかりました。該当する全て項目について修正いたします。

委員長 No.6の一番下の項目「事業名：医療従事者向け研修会の開催」になりますが、実施状況は未着手、自己評価はd評価になっていますが、こちらについても予算がつかないから出来ていないということですか。

事務局 確かに平成22年度は未着手のd評価ということになりますが、平成22年度に障害者相談支援センターを設置しましたので、その委託費の中で、研修会等については順次進めております。

委員会評価は、平成22年度を評価していただきますが、現状については、「5年間の計画」の欄を見ていただければ、今年度の状況がわかるようになっております。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.7へ移ります。

委員 4項目目の「事業名：職員雇用、チャレンジ雇用の実施」についての委員会評価ですが、昨年度は、「商工会と連携を深め、普及促進に努める」という意見が付されていますが、何か実施されたのですか。

事務局 現在、専門部会には、就労部会がありますが、事務局として障害者相談支援センターや福祉課も関わっております。そちらの部会を通して商工会のほうへは、職員等の雇用の機会を考えていただけるようにジョブコーチなどの話をさせていただいております。

委員 今日、小野田委員は欠席されていますが、商工会の理事会においても障害者の雇用の話は出ています。ただ、小さな事業者が多いことから、なかなか理解してもらうことは難しく、職員の雇用までは結びつきません。まずは、障害者雇用の理解を深める、啓蒙のところから進めていかなければならないと考えます。努力はしておりますので、ご理解のほど

お願いいたします。

事務局 事業概要に記載のとおり、「市において、障害のある人の雇用を進めるとともに・・・」とありますが、平成22年度には採用試験を実施しまして、平成23年4月1日からではありますが、知的障害の方を1名雇用しております。自己評価、委員会評価のところはc評価をつけていますが、b評価に修正をお願いいたします。

委員長 B評価に修正するという事によろしいですか。

委員 承認。

委員長 自己評価のところは、雇用したことがわかるように記載し、事務局のほうで修正しておいてください。

事務局 了解しました。

委員長 他はよろしいでしょうか。それでは次のページのNo.8に移ります。

委員長 2項目目の「障害のある子ども向けのスポーツ・レクリエーション体験教室などの開催促進」については、自己評価がb評価になっていますが、チャレンジド・プロジェクト事業は今年度も実施するのですか。

事務局 チャレンジド・プロジェクト事業は、市の委託業務であり、今後も継続していきますが、その事業内容は、公募による提案になります。平成22年度はキャンプ活動が採択されたものであり、このキャンプ活動事業が継続されるものではありません。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.9へ移ります。

委員長 こちらにも「事業名：活動機会の提供」のところで、チャレンジド・プロジェクト事業がありますが、どういう内容ですか。

事務局 委託先が聴覚障害者団体で講演会を実施したものになります。聴覚障害者に対する理解を促進するための講演の内容で、講師についても入所施設に勤める聴覚障害者の方が講演を行ったものでした。また、委託につきましても、企画から講師依頼に至るまで、全てを聴覚障害者団体に

委託したものです。

この委託事業につきましても、チャレンジド・プロジェクト事業になりますので、同内容での継続性はありません。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.10へ移ります。

委員長 一番下の項目になりますが、平成22年度の自己評価がd評価になっていますが、委員会評価はE評価になっています。何かありますか。

事務局 そうですね。機械的に評価するならD評価になりますので、訂正をお願いします。

また、一番上の項目「事業名：移動支援事業の見直し」と一番下の項目「事業名：各種手当、助成制度についての周知徹底と見直し」については、関連しておりますので、移動支援事業全体の中で見直しを検討しています。

委員長 他はよろしいですか。それではNo.11へ移ります。

委員長 このページは、よろしいですか。それでは次のページへ移ります。

委員 一番上の事業「事業名：学校などにおける福祉実践教室の継続と内容の充実」の自己評価のところで、「福祉について」の出前講座を実施したとあるが、その内容を教えてください。

事務局 こちらの出前講座は、小学校から総合学習として福祉課へ講座依頼がありましたので、ご担当の先生と相談して「福祉について」という題で、日進市の福祉についての全般的なお話をさせていただいたものです。

委員長 意見、質問でもかまいません。他はよろしいですか。それではNo.13へ進みます。

委員長 下から2項目目の「事業名：福祉避難所の指定」の自己評価のところで、市内の事業所に対し福祉避難所に関するアンケート調査を実施したとあります。評価はbということですが、その内容を教えてください。

事務局 アンケート内容は、福祉避難所についての周知と理解を図ることのほ

か、福祉避難所としての指定要件調査として、①施設全体の安全性が確保されていること、②施設内における要援護者の安全性が確保されていること、③要援護者の避難スペースが確保されていることなどの項目について調査したものです。

委員長 福祉避難所の指定は良いことです。是非、早急に進めてもらいたい。

委員長 他はよろしいですか。それでは最後のページになります、No.14、No.15へ移ります。

委員長 No.15の一番下の項目になりますが、事業名が網掛けになっています。3年以内に実施を目指す項目になると思いますが、5年間の計画が空欄になっています。何か入るのではないですか。

事務局 そうですね。23年度の計画のところですが、「手順方法についての検討」ということで訂正をお願いします。

委員 上から2つ目の項目「事業名：公共施設のバリアフリー化チェック機能」のところですが、県の手引書（案）との調整が必要ということですが、竹の山に新しい施設が出来ますので、ぜひ、チェックリストの活用がなくとも、バリアフリー化をしていただくようお願いします。

事務局 竹の山の支援拠点施設については、チェックリストではないにしろ、何らかの形でチェックが出来るような機会を設けたいと考えております。

委員長 他はよろしいですか。

No.15まで一通り終わりましたが、何か言い忘れたことや、全体を通して気づいたことがあれば発言をお願いします。

委員 雇用・就労の促進に関係することですが、障害者の就労賃金を国の目標である月額3万円になるようにするため、市の施策として、保育園・学校等において給食やおやつなどを定期的に就労継続支援事業所に委託し、事業所製品の販路を拡大させ賃金向上につなげることを、行政として積極的に考えてもらえないか。

事務局 ご意見として、お伺いしておきます。

委員長 難しい課題ですね。前向きな検討をお願いします。
他に意見はございませんか。

委員長 それでは、次の議事に入ります。
障害福祉計画について説明をお願いします。

事務局 資料説明（資料1－1、資料1－3）

委員長 事務局からも説明がありましたように、障害福祉計画の記載項目である評価項目は、対象者が少ない項目もあります。そうした項目につきましては、数名の増減によって評価が大きく変わってしまい、評価しづらい点もありますが、ご意見、評価等について発言をお願いします。

委員 No.1 の評価項目の自立訓練（機能訓練）のところですが、平成 21 年度が 4%で、平成 22 年度が 0%という数値になっており、その評価は「数値等、目標を達成していない」という評価になっています。計画策定時の目標数値が 20 人日ということですが、これは策定時の目標数値であり、0%ということは実績・利用者等がなかったということですので、評価の仕方としては、「目標を達成していない」という表現ではなく、「需要がなかった」というような記載を変えたほうが良いのではないのでしょうか。

また、前年度より数値が下がるということは、計画策定時の目標数値の見込みが違っていたということもあるので、目標数値が違っていたという評価項目があってもよかったと思う。

委員長 今ご指摘を受けましたが、委員会の評価としてはどうでしょうか。
評価基準の記載内容を変えるとか、数値目標を変えるとか考えられますが、ご意見はありますか。

事務局 今、評価していただいている障害福祉計画は既に策定されたものですので、その目標数値を変えることは出来ません。
評価基準の記載内容を変えるという方向でご意見をいただければと思います。

委員 数値が 0%については、「目標を達成していない」という評価になります。それは、全く出来ていないということであり、評価ゼロという意

味になりますので、表現は変えたほうが良いと思います。

事務局 自立訓練（機能訓練）につきましては、平成 21 年度までは対象者が 1 人いました。このサービスには期間に制限があり、その期間が過ぎたため対象者が 0 人なったものであります。

委員 理由はわかりましたが、結果的に 0 になっています。目標数値を変えるか、評価基準を変えるかしたほうが良い。

事務局 例えば、評価基準のところ、数値が 0% については項目を 1 つ加え、「需要がなかったため、評価できない」というような評価をするというのはどうでしょうか。

委員 そうですね、もともと需要がないのに評価は出来ませんので、そうしたほうが良いと思います。

委員長 評価のあり方について、数値が 0% のものは評価基準の項目を追加するというところでお願いします。

委員長 重度訪問介護の評価基準のところですが、数値が 103% になっているのに「概ね」が入っています。

事務局 評価を概ねを削除していただき、「数値等、目標を達成している」に訂正をお願いします。

委員長 他に意見はありますか。

委員長 今日いただいた意見については、事務局のほうで修正していただき、次回までにまとめて報告してください。

事務局 わかりました。

委員長 他はよろしいですか。以上で議事（1）点検と評価について、①基本計画、②福祉計画については終わります。

続きまして、次の議事に入ります。

資料の説明をお願いします。

事務局 資料説明。

- ・第3期障害福祉計画策定にあたって
- ・アンケート「日進市障害福祉計画」の策定にあたって

委員長 今年度は、第3期の障害福祉計画を策定するという事で、計画期間が平成24年度から平成26年度までの3ケ年の計画ということです。今後の計画としては、アンケート調査を実施し、その結果を基に計画策定を進め、3回ぐらいの委員会を開催し、まとめていくということになります。よろしいですか。

委員 このメンバーで策定することになりますか。委員の改選とかは無いのですか。

事務局 この委員会の任期は、6月末で満了となっております。また、7月1日から2ケ年という任期になります。

委員長 以上をもちまして、第1回日進市障害者基本計画等策定・評価委員会を終了します。

(午後12時05分閉会)